

2009年3月24日

薬害肝炎の検証および再発防止に関する研究班

検証2:薬害肝炎拡大と被害の実態

中間報告書 (案)

目次

(1) はじめに	3
(2) 本件医薬品（フィブリノゲン（含フィブリン糊）、クリスマシン、PPSB・ニチャク）の使用実態	4
1) 使用量	4
i) 製剤別経年使用量（ウイルス不活性化方法ごと）	4
ii) 原料血漿の輸入国別輸入量	7
iii) 使用方法別使用量（静注／糊の別も含む）	8
iv) 使用診療科別使用量	10
2) 使用対象疾患	13
i) 使用対象疾患別使用方法と使用量	13
3) 投与患者数	18
i) 投与患者数	18
ii) 対象疾患毎の投与患者数	21
iii) 静注／糊 別投与患者数	22
iv) 輸血併用投与患者数	24
(3) 本件医薬品によるウイルス性肝炎感染の実態と疾病発症の実態	26
1) 感染の実態	26
i) 製剤別（不活性化処理別）感染発生状況	30
ii) 年代別感染発生状況	32
iii) 診療科・疾患別感染発生状況	34
iv) B型・C型別感染発生状況	35
v) 輸血の有無別感染発生状況	36
2) 発症と被害の実態	40
i) 慢性肝炎患者数、肝硬変患者数、肝細胞癌患者数（死亡者数を含む）	40
ii) 薬害C型肝炎被害者が受けた被害	43
(4) 本件以外の血液製剤によるウイルス性肝炎感染被害の実態	50
(5) おわりに	52
参考データ集	53